

酒

と

醸

かも

美す 美術

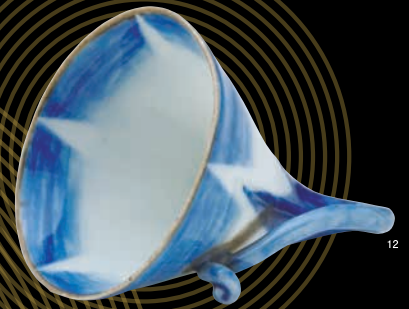
美酒と
美器との
憧れ



2



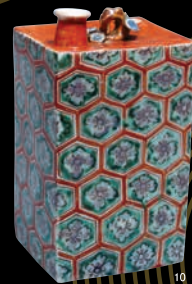
1



12



11



10



8



3



9

2023 11/30^祝金 - 12/24^日

開館時間 午前9時30分から午後5時まで(入館は午後4時30分まで)

休館日 毎週月曜日

観覧料 一般1,000(800)円、高・大学生、65歳以上700(560)円

※()は20名以上の団体料金、中学生以下、障がい者手帳をお持ちの方は無料

主催 郡山市立美術館



4



5

6



7

郡山市立美術館
Koriyama City Museum of Art

酒と醸す美術

美酒と美器への憧れ

古来より、酒は人の営みの中で重要な役割を担ってきました。祭祀において神に捧げるものとして、あるいは非日常的な世界に入り込み、神と交信する手立てとして、人とともに長い歴史を歩んでいます。現代の私たちにとつても、儀式や神聖な場において酒は欠くことのできないものです。また、人と人をつなぐ媒介として、酒が果たしてきた役割については言うまでもありません。

本展では、酒にまつわる道具といわれる出土品から、酒処福島に伝来する品々、酒販に欠かせないポスターや包装紙などのグラフィック作品を通じて、人々が酒とともに築いてきた歴史の一端を振り返ります。また、日本では陶磁器やガラス器が舶来して以降、それらに憧れて多様な美しい酒器が生まれました。酒が醸す美意識の結晶ともいえる、古今東西のさまざまな酒器を展示します。酒が育んだ味わい深く豊かな美の世界をどうぞご覧ください。



13



14



15



24



23



18



17



16



22



21



20



19

講演会

「和ガラスの見方
一びいどろとギヤマンの材質、美意識の違い」

講師：岡泰正氏（神戸市立小磯記念美術館 神戸ゆかりの美術館 館長）
日時：11月11日（土）午後2時～ 会場：多目的スタジオ（入場無料）
応募締切：10月27日（金）必着

申し込みQR



※要申し込み

申し込み方法

次のいずれかの方法でお申し込みください。

- インターネット
各イベントのQRコードを読み込み、応募フォームからお申し込みください。
- はがき[1枚につき1イベント、1名様まで]
①イベント名 ②氏名 ③郵便番号 ④住所
⑤電話番号をご記入の上、〒963-0666 郡山市安原町字大谷地130-2 「郡山市立美術館 宛」までお送りください。

美術講座

「酒器の愉しみ」

講師：当館学芸員 日時：11月23日（木・祝）午後2時～
会場：講義室（入場無料）

「酒器の素材と歴史」

講師：当館学芸員 日時：12月23日（土）午後2時～
会場：講義室（入場無料）

ギャラリートーク

※要観覧券

講師：当館学芸員
日時：11月18日（土）、12月10日（日）午後2時～
会場：企画展示室

常設展のご案内

12/27まで

- 第1室 イギリスの油絵画
- 第2室 画家とスケッチ
- 第3室 何に見える？色んなかたち
- 第4室 ①ヴァーティシズムとその周辺 ②佐藤潤一郎とガラス

1.ガラス室：江戸時代 関西大学博物館 2.朱漆塗飯子：室町時代 サントリー美術館 3.菊透絵提燈：江戸後期-明治 福島県立博物館 4.蕨草切子紫色被せ斜格子文脚付きガラス杯：江戸後期-明治前期 神戸市立博物館（びいどろ学館コレクション） 5.青磁染付桜花文鏡子：江戸時代後期 兵庫陶芸美術館 6.色絵葡萄鳥文彫酒注ぎ：江戸時代 サントリー美術館 7.社文銀製置付マグ：1685年 サントリー美術館 8.葡萄鳥文焼付瓶：1685年頃 サントリー美術館 9.ダイヤモンドポイント彫りレマー杯：17世紀 サントリー美術館 10.色絵花鳥甲角瓶：江戸時代前期 愛知県美術館（木村定三コレクション） 11.藤母絵提燈：江戸時代後期 福島県立博物館 12.染付朝顔蓋：江戸-明治時代 豊橋市美術館（明コレクション） 13.丸谷色絵安寿と厨子王絵蓋：明治時代 市之倉さかづき美術館 14.アンボリーナ：16世紀末 町田市立博物館 15.脚付きガラス杯：江戸時代（1772-1822年）まほろば珊瑚ノイエ 16.福島焼華文文鳳凰形徳利：明治時代 郡山市教育委員会 17.福島焼華文徳利：明治時代 郡山市教育委員会 18.通徳利：明治-昭和初期 郡山市教育委員会 19.金彩カットガラス杯付花瓶（伝来品）：1800年頃 味のた裏山コレクション 20.繕礼用祝樽（角樽）：明治時代 郡山市教育委員会 21.吉向十三軒 絵巻人物文芸・色絵金彩扇蓋台・大江-昭和時代 豊橋市美術館（明コレクション） 22.朱漆染付梅花文蓋・染付梅花次皿蓋台：江戸時代後期 豊橋市美術館（明コレクション） 23.片岡鶴郎・井上大右衛門グラスを持つ半裸の性根赤玉ホトアイン・ボスター：1922年（後）サカゴールコレクション 24.山椒ボスター（山口直道）：大江-昭和初期 個人写真 / 15.マントピジョン 加藤成文、12-13-15-21-22：大羽ホトスタジオ 大羽路之、16-17-18-19-20：スタジオテイク 荒井裕二



バス/JR郡山駅5番のりば
「郡山市美術館経由東部ニュータウン」行き
「郡山市美術館」下車すぐ
乗用車/東北道「郡山南IC」・磐越道「郡山東IC」より20分
駐車場/130台

郡山市立美術館

Koriyama City Museum of Art
〒963-0666 福島県郡山市安原町字大谷地130-2
TEL.024-956-2200 FAX.024-956-2350
https://www.city.koriyama.lg.jp/site/artmuseum/

